

評価

1. **確認** – 患者にデバイスが挿入されているか
 - シフトごとに PICC の挿入の有無を評価し記録する(接続時/接続解除時)
 - 病院の方針に従って腕周囲と目視可能なカテーテル長を評価する
 - コネクターとラインを評価し、コネクター/ラインに血液がないことを確認する
2. **必要性** – 患者はこのデバイスを必要としているか
 - PICC が挿入された理由は？その適応はまだあるか？
 - 静脈栄養
 - 化学療法
 - 中心静脈アクセスが必要な薬剤/血管刺激性薬剤
 - 頻繁な採血(毎日の検査ではない)
 - その適応に対してより安全な血管アクセスデバイスは利用可能か？
 - PICC を抜去し、より侵襲性の低いデバイスに交換できるか？
3. **機能** – 滴下、フラッシュ、血液の逆流は良好か
 - PICC の各ルーメンは血液吸引、フラッシュや投与が容易にできるか？
4. **合併症または懸念事項**
 - 患者は挿入部位またはカテーテルに沿って発赤、腫脹、分泌物、硬結、触知可能な索状物、または疼痛があるか？
 - 前回記録時より患者の腕周囲が大きくなっている、または露出/可視カテーテル長が増加しているか？
 - PICC 挿入部位または四肢に合併症や懸念事項が認められる場合は、治療チームに相談する
5. **感染予防と認識**
 - 無菌非接触テクニックを使用する
 - PICC を操作する前に手指衛生を行う
 - 接続前にハブを消毒薬で 15 秒間擦り、乾燥させる
 - 患者に感染の兆候/症状または挿入部位からの膿性排液があるか？
6. **ドレッシングと固定**
 - ドレッシングは清潔で乾燥し、きちんと貼れているか？
 - ドレッシングが湿っている、緩んでいる、または目に見える汚れがある場合は交換する
 - PICC と接続された IV ラインは適切に固定されているか？
 - 適切なカテーテル固定デバイスが使用されているか？
 - 必要に応じて適切に固定する
7. **評価と教育**
 - PICC ラインの必要性和治療に関連するリスクについての患者/家族の理解度を評価する。そして教育を行う
8. **記録**
 - 評価結果と教育内容を記録する
 - 必要に応じて評価と推奨事項を治療チームと話し合う

治療チームとの協力による決定と行動

- ☐ PICC の使用と再評価を継続
- ☐ PICC の使用を継続 - ドレッシング交換および/または固定の追加
- ☐ PICC の使用を継続 - カテーテル閉塞に対する介入
- ☐ ルーメン数を減らすために PICC を交換
- ☐ PICC を抜去し、他の血管アクセスデバイス_____に交換
- ☐ PICC 抜去

